

情報保存研究会（JHK）・（社）日本図書館協会 共催

第6回資料保存シンポジウム

「資料保存の最新事情—さまざまな取り組みの中から—」

- 日 時：2012年10月22日（月）9：50～18：00（受付 9：20）
- 会 場：東京国立博物館 平成館・大講堂&ラウンジ
〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9
JR：上野駅公園口・鶯谷駅南口から徒歩10分、
東京メトロ：銀座線上野駅・日比谷線上野駅・千代田線根津駅から徒歩15分、
京成電鉄：京成上野駅から徒歩15分
- 後 援：全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、国立大学図書館協会、私立大学図書館協会、
文化財保存修復学会、ARMA東京支部、企業史料協議会、記録管理学会、
全国大学史資料協議会、日本アーカイブズ学会、専門図書館協議会、
アート・ドキュメンテーション学会
- 併設事業：情報保存研究会会員企業による展示

プログラム

- | | |
|-------------|--|
| 9：50～9：55 | JHKあいさつ |
| 9：55～10：40 | 特別講演「東日本大震災における文化財レスキューと博物館の役割」
東京国立博物館 学芸研究部 保存修復課 課長 神庭信幸 |
| 10：40～10：50 | 小休憩 |
| 10：50～11：35 | 特別講演「災害に備えた地域の歴史資料保全」
東北大学 災害科学国際研究所 准教授 佐藤大介 |
| 11：35～13：15 | 企業展示（昼休み） |
| 13：15～14：00 | 特別講演「東京低地災害史」
葛飾区郷土と天文の博物館 学芸員 橋本直子 |
| 14：00～14：10 | 小休憩 |
| 14：10～15：30 | 資料保存実用講座（その1） |
| 15：30～16：10 | 企業展示 |
| 16：10～17：30 | 資料保存実用講座（その2） |
| 17：30～17：35 | 日本図書館協会あいさつ |
| 17：35～18：00 | 企業展示 |

9：55～10：40 特別講演

「東日本大震災における文化財レスキューと博物館の役割」

東京国立博物館 学芸研究部 保存修復課 課長 神庭信幸

1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災において、我が国で初めて文化財レスキューという言葉と概念が生まれた。文化庁の呼び掛けに応じた大学や国立機関の研究者、民間の保存修復技術者、そして両者が参加する学会が中心となって文化財レスキューが発足し、事務局が東京国立文化財研究所（名称は当時）におかれた。当時の委員会に参加した機関は決して多くはなかった。レスキュー活動が一段落すると、学会が中心となって研究会やシンポジウムが開催され、様々な角度から検証がなされた。また、文化財防災ウィールの日本語版の制作などもその時期に行われた。その後発生した新潟県中越地震においても同様である。こうした地道な活動と蓄積が、2011年3月11日に発生した東日本大震災に際して、レスキュー委員会の活動を支えた大きな原動力になっている。

この度の震災では、まだまだ多くの問題点が存在するとはいえ、迅速、効果的そして広範囲な支援が展開されたことは間違いない。その事実を支えたのは、阪神淡路大震災によって得られた経験、そして極めて広範な分野に渡る団体からの支援を得られたこと、もう一つは活動に必要な資金の調達が大規模になったことである。なかでも博物館、美術館、図書館、公文書館から参加した専門家たちの寄与が重要な役割を果たしたと考えている。阪神淡路大震災の当時はさほどでもなかったこれら団体の寄与が、今回の活動を支えたるまでに成長した。

本稿では、今回の震災における博物館の活動内容を紹介した上で、活動によって明らかになった課題を整理し、そして将来への展望について考察を行う。

10：50～11：35 特別講演

「災害に備えた地域の歴史資料保全」

東北大学 災害科学国際研究所 准教授 佐藤大介

本講演では、東日本大震災から一年半を経過した宮城地区での被災歴史資料レスキューについて、災害発生から現在までの状況を改めて報告する。

被災地では多くの歴史資料が失われる一方、奇跡的に残された史料も多い。全国の関係者や市民ボランティアの支援を得て、被災地からの搬出、応急処置、さらにはデジタルカメラでの撮影を続けている。現在53件の史料を保全しているが、所蔵者の手元に返却できた史料はその1割程度である。まだ長い活動が続く。

ところで宮城地区では、2003年7月に発生した宮城県北部での連続直下地震をきっかけに、災害が起こる「前」に地域の歴史資料を守るための活動に取り組んできた。東日本大震災は、一連の活動の「意義」を検証する機会ともなった。史料の所在把握を通じて構築された行政や地域とのネットワークは、震災後の対応に大きな力となった。また、震災前に撮影した史料の原本が消滅したが、データだけはかろうじて残されるという事態も起こった。日本では特に江戸時代の文書史料などの歴史資料が地域社会の中に膨大に残されており、その防災対策には市民が参加できる組織や技術が不可欠である。「次」の巨大災害まで残された時間は、おそらくあまり多くはない。

13：15～14：00 特別講演

「東京低地災害史」

葛飾区郷土と天文の博物館 学芸員 橋本直子

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、自然と人間の関わり方を根底からくつがえす出来事だった。1年半余を経過した今も、被災地の復興は進まず、多くの方々が自宅に帰れない、以前の仕事に就くことができない等、苦しい状態が続いている。特に、福島第一原発は、廃炉まで何十年もの時間が必要とされ、周辺の帰宅困難及び居住制限地域の方々が、以前の生活を取り戻すには、多くの困難が予測される。

葛飾区郷土と天文の博物館では、17世紀以降東京低地が立地する関東平野における歴史災害の検証を試みた。多くの災害は避けては通れないが、先人は自然と共生しながらも、発生する諸災害に立ち向かい復興をとげてきた。自然に想定外はない。残された史料から災害の教訓を未来に継承し、改めて自然と向かい合う契機になれば幸いである。

14:10～15:30 資料保存実用講座 (その1)

(発表順)

16:10～17:30 資料保存実用講座 (その2)

■ 14:10～14:20 四国工業写真(株)

「高解像度デジタル撮影における問題点」

■ 14:20～14:30 ビクターアドバンスメディア(株)

「光ディスクによるデジタルデータの長期保存」

■ 14:30～14:40 (株)プリザベーション・テクノロジーズ・ジャパン

「ブックキーパー大量脱酸処理の技術と効果」

■ 14:40～14:50 (株)ニチマイ

「劣化フィルム対策と業務案内」

■ 14:50～15:00 関東インフォメーションマイクロ(株)

「デジタルコンテンツ化の事例ご紹介」

■ 15:00～15:10 (株)インフォマージュ

「デジタルアーカイブの作成…最適な撮影方法を求めて」

■ 15:10～15:20 ラーソン・ジュール・ニッポン(株)

「高純度ポリエステル製包材のご紹介」

■ 16:10～16:20 (株)堀内カラー

「フィルム保存と情報化について」

■ 16:20～16:30 関東港業(株)

「炭酸ガスくん蒸のご紹介」

■ 16:30～16:40 (株)資料保存器材

「防カビ・殺虫が瞬時にできる無酸素パック」

■ 16:50～17:00 (株)マイクロテック

「DMA(デジタル-マイクロ-アーカイブ)」

■ 17:00～17:10 日本ファイリング(株)

「被災紙資料の再生—真空乾燥・滅菌処理」

■ 17:10～17:20 (株)国際マイクロ写真工業社

「フィルムの酸性度測定紙 A-D Strips のご案内」

JHK 質問箱

情報の保存と活用の疑問に JHK 会員企業がお答えします！

JHK ホームページの「質問箱」に質問をいただくと、会員企業の中で回答が可能な企業が、まず JHK 質問箱担当者に回答をだします。各社から回答がまとまった段階で担当者が皆様に返信します。

各社はどなたから質問を受けたのかを知ることはできません。皆様に寄せられた回答の中から自由に選択し、各企業へコンタクトを取ることが出来ます。

<http://www.e-jhk.com>

情報保存研究会 (JHK) 出展会員企業 (五十音順)

企業名	出展内容
(株)インフォマージュ	デジタルマイクロアーカイブのパネル展示
(有)紙資料修復工房	紙資料への保存修復処置のご案内
関東インフォメーションマイクロ(株)	資料の活用・公開に役立つ各種システム
関東港業(株)	くん蒸業務、書籍等のクリーニング作業のパネル展示
(株)国際マイクロ写真工業社	フィルムの酸性度測定紙 A-D Strips のご案内
(株)コスモスインターナショナル	写真フィルム等の保存用品と画像用 DB
四国工業写真(株)	デジタル撮影装置
(株)資料保存器材	コンサベーション技術の紹介と、アーカイバル容器の展示
特種紙商事(株)	保存容器の展示
ナカシャクリエイテブ(株)	企業・大学・自治体の資料整理と複製の紹介
(株)ニチマイ	劣化フィルム対策と DMA
日本ファイリング(株)	被災紙資料の再生—真空乾燥・滅菌処理
ビクターアドバンストメディア(株)	長期保存用光ディスクとドライブ・検査機
フィルムルックス(株)	資料保存用ポリエチレン袋等御紹介
(株)ブリザベーション・テクノロジーズ・ジャパン	ブックキーパー大量脱酸処理のご案内
(株)堀内カラー	フィルム電子化と大型資料電子化の提案
(株)マイクロテック	ブックスキャナ・DMA・電子化請負サービス
ラーソン・ジュール・ニッポン(株)	中性紙保存容器、高純度ポリエステル製包材

その他の会員企業

(有)岩田書院・新生マイクロ写真(株)・(株) D.I.M.S.・ナカバヤシ(株)

社会福祉法人日本キリスト教奉仕団東京都板橋福祉工場・(株)パレット・(株)マイクロ